

CNCF 2024

アニュアル レポート

新たな高みへ挑む！



目次

はじめに	3
2024年の勢い	4
メンバーシップ	5
エンドユーザー コミュニティ	6
イベント	8
教育	13
プロジェクトの最新情報と満足度	15
CNCFプロジェクトの成長速度	16
セキュリティ	18
PHIPPY AND FRIENDS	18
コミュニティと多様性への取り組み	20
DEI	22
DEIコミュニティハブ	22
コミュニティアワード	23
メンタリング	24
資金提供	26

はじめに

2024年はCloud Native Computing Foundationにとって非常に大きな年となりました。Kubernetesの誕生10周年 (#kuberTENes) を迎え、インドで初めてKubeCon + CloudNativeConカンファレンスを開催し、Kubestronautプログラムを立ち上げ、世界各地でKCD (Kubernetes Community Days) の開催数を増やし、そしてもちろん、ほぼあらゆる技術分野でクラウドネイティブ技術の限界に挑み続けました。

200以上のプロジェクトが189の国々に広がり、世界中で27万人を超えるコントリビューターが関わる中、クラウドネイティブの勢いとユースケースはかつてない速度で拡大し続けています。

今年、CNCFは多様性とインクルージョンへの支援を継続し、529名の登壇者およびスカラーシップ受給者に対して、CNCFイベントへの参加に必要な渡航費を支援しました。

また私たちは、業界全体の課題であるパテントトロール (特許の濫用者) にも取り組み、Cloud Native Heroes Challengeを立ち上げました。これは、コミュニティが迷惑訴訟を食い止める手助けをしながら、賞金やグッズ、カンファレンスのチケットなどを獲得できる取り組みです。

ぜひ、この盛りだくさんの一年を振り返るひとときをお楽しみください!



Chris Aniszczyk, CTO, CNCF



200+ プロジェクト



728 CNCF メンバー



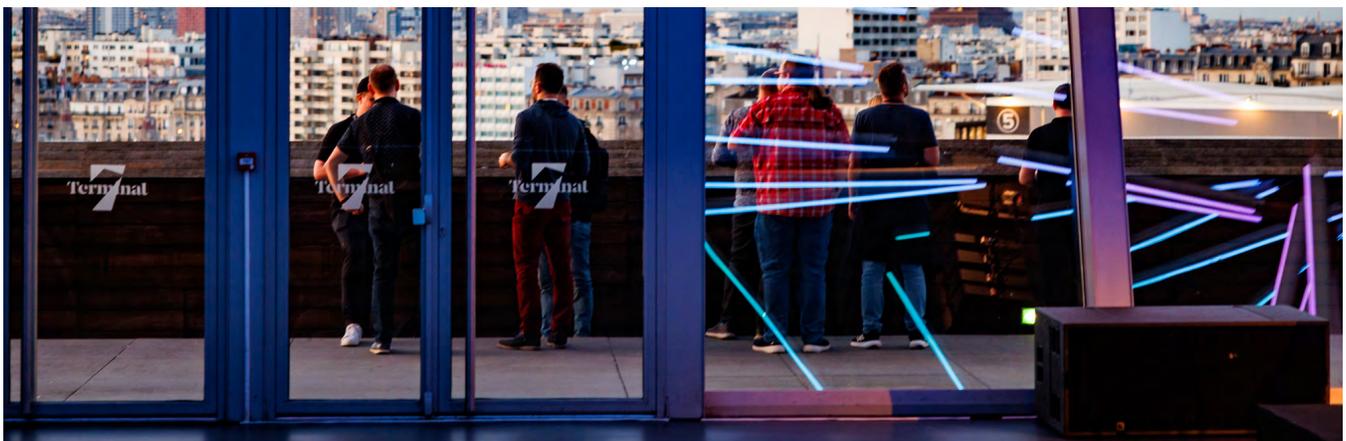
270,000+
コントリビューター



100,000+
community.cncf.io
グループメンバー

「これからKubeConに向かうところ。自分にとっては家族の同窓会みたいなもの。技術もすごいけど、何より人たちが最高なんだ。」

- KELSEY HIGHTOWER,
BLUESKY



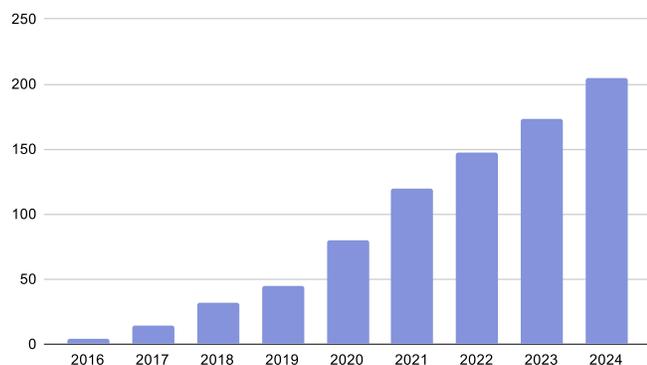
2024年の勢い

「開発者として心が躍るコミュニティがあって、そのひとつが #KUBECON です。私たち @FIMIOXYZ は KUBERNETES を完全に取り入れており、それをベースに構築できることを嬉しく思っています。」 - OMOJU MILLER, X

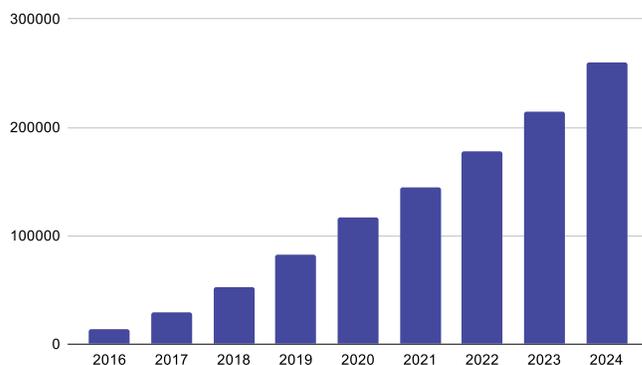
CNCFはクラウドネイティブ コンピューティングを普及させることに専念するオープンソース ソフトウェア財団です。2015年の設立以来、Kubernetes、Prometheus、Envoy、ContainerDやその他数多くの、世界で最も成功しているオープンソース プロジェクトをホスティングし、成長させることで、クラウドネイティブ技術の先駆けとなってきました。

現在、私たちは200以上のプロジェクトをホストし、189か国から27万人以上のコントリビューターが参加するビジョナリーなプロジェクトと人々の力強い拠点となっており、この成長が鈍化する兆しはまったく見られません。

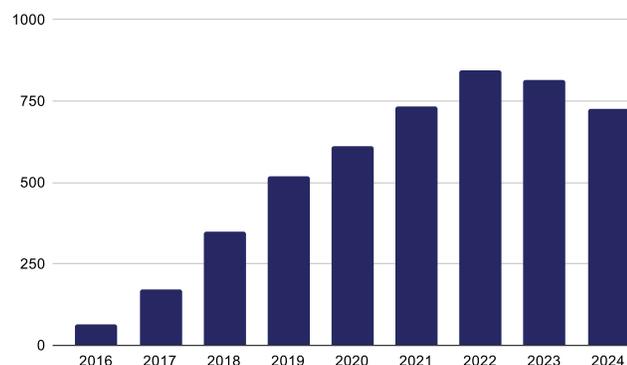
プロジェクト



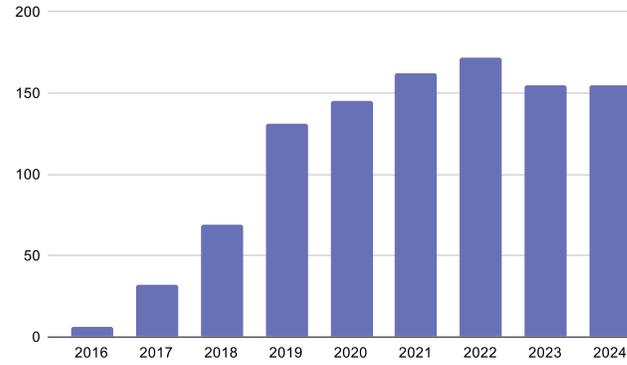
コントリビューター



メンバー



エンドユーザー



メンバーシップ

CNCFのエコシステムはベンダーおよびエンドユーザーメンバーシップの両面で成長を続けており、CNCFはこれまでで最も成功したオープンソース財団の一つとなっています。実際、今年だけで140を超える新メンバーを迎え入れました。

現在、CNCFには世界最大のパブリッククラウドおよびプライベートクラウド企業をはじめ、世界で最も革新的なソフトウェア企業やエンドユーザー組織を含む720以上の参加組織があります。これらの主要組織からの投資は、今後何年にもわたるクラウドネイティブコンピューティングの発展と持続可能性に対する強いコミットメントを示しています。



新プラチナメンバー



新ゴールドメンバー



CNCFプロジェクトを基盤とする、または統合したクラウドネイティブ技術を販売する組織は、一般メンバーとして参加資格があります。

[CNCFメンバーに参加する](#)

CNCFメンバーシップの成長



CLOUD NATIVE HEROES CHALLENGE



2024年、クラウドネイティブ開発者や技術者がパテントロールからエコシステムを守ることでグッズや賞品を獲得できる[パテントロール報奨プログラム](#)を開始しました。パテントロールは、その成功と広範な普及により、ますますクラウドネイティブのオープンソースを標的にしています。最初のチャレンジでは3名の勝者が出ており、2025年にもさらなるチャレンジが予定されています。

エンドユーザー コミュニティ

クラウドネイティブのエコシステムはますます拡大し進化しており、エンドユーザーのオープンソースへの信頼がその推進力となっています！ - **APARNA SUBRAMANIAN, DIRECTOR OF PRODUCTION ENGINEERING, SHOPIFY**



CNCFのエンドユーザー コミュニティは、クラウドネイティブ技術の限界に挑戦し続ける革新的で先進的な組織の集まりです。これらの組織はクラウドネイティブ アーキテクチャを活用して業務を支えています、クラウドネイティブ サービス業界に限定されるものではありません。彼らはベンダーやコンサルティング会社、トレーニングパートナー、通信会社とは異なり、主な目的はクラウドネイティブ アーキテクチャの力を利用して現実の課題を解決することであり、クラウドネイティブ サービスを外部に販売することではありません。

エンドユーザー企業内でこれらの取り組みを主導する人々は、技術に精通しクラウドネイティブを熱愛するエンスージアストです。彼らはクラウドネイティブ アーキテクチャがもたらす課題や機会に意欲的に取り組み、包括性を促進し反復的なプロセスを支えるセルフ サービス ソリューションを考案しています。このセルフ サービス文化はチームに力を与え、イノベーションを促進し、アジャイルでレジリエントな運用に不可欠な反復的フィードバックループを加速させます。

エンドユーザーアワード

今年、クラウドネイティブエコシステムへの顕著な貢献を称え、CernとAdobeにトップエンドユーザーアワードを授与できたことを大変嬉しく思います。



2024年春の受賞者

Cern — Cernの研究所もPrometheus、Argo、FluentD、CoreDNS、HarborなどCNCFプロジェクトを積極的に採用しており、これらは数千のノードを持つ500以上のクラスターの管理を支えています。

2024年秋の受賞者



Adobe — Adobeの70人の従業員が、Argo、Cilium、Envoy、Fluentd、Helm、Kubernetes、OpenTelemetry、Prometheusを含む46のCNCFプロジェクトに対して5,000件以上の個別コントリビューションを行っています。

エグゼクティブサミット

Executive Summit, KubeCon + CloudNativeCon North America 2024

2024年11月、賑やかなKubeConの喧騒を離れた静かな場所で、約40名のクラウドネイティブの経営幹部が集まり、業界が現在直面している最も難しい課題についてじっくりと議論する午後の時間を過ごしました。

招待制のエグゼクティブサミットは主にAI/ML/バッチ処理、マルチクラスター戦略、およびスタック全体のオペラビリティに焦点を当てました。しかし、話題に制限はなく、すべての会話はオープンで機密性が保たれ、率直に行われました。会場の雰囲気はリラックスしていましたが、質問と回答は的確でした。多くの参加者が最先端の課題解決の事例を共有し、重要な詳細を惜しみなく提供する一方で、他の参加者は業界やトレンドに対してユニークでやや外部的な視点を示しました。



のエンドユーザー
メンバー



[エンドユーザーコミュニティ](#)に参加して、仲間から学び、そしてこの影響力のあるグループにあなたの声を加えてください。

CNCFに参加する

ZERO TO MERGE (ゼロからマージへ)

私たちは、Zero to Merge programの第2期を発表できたことを大変嬉しく思います。この包括的な4週間のプログラムは、参加者がCNCFプロジェクトに意義ある貢献を行えるよう支援するものです。このプログラムは期待を上回る成果を上げ続けており、25か国から1,000件を超える登録があり、最終的に344名が参加しました。

このプログラムの成功は、単なる数値を超え、参加者の貢献が複数のCNCFプロジェクトにわたって具体的な成果を生み出し、ポジティブな変化の波及効果をもたらしたことにあります。次回のコホートは2025年春に開始予定です。クラウドネイティブ分野での貢献を飛躍的に高めるこの機会をお見逃しなく。次回のコホートへの応募をぜひご検討ください。



イベント

KUBERNETES が10周年を迎えました!

2024年6月、Kubernetesは節目となる誕生日を迎え、この10年での歩みを振り返る時でもありました。2014年6月6日の最初のコミットから始まり、現在では31万4,000件を超えるコミットが日々増え続けています。Kubernetesは世界中のコミュニティに支えられた最大級のオープンソースプロジェクトの一つであり、セキュリティ、オブザーバビリティ、プラットフォームエンジニアリング、ストレージなど、あらゆる技術分野の議論に登場しています。[その歩みをぜひ振り返ってみてください。](#) [バースデービデオ](#)もご覧ください。



KUBECON + CLOUDNATIVECON EUROPE 2024



12,000人以上の参加者が、パリで開催された初のKubeCon + CloudNativeCon Europeで「クラウドネイティブな生活」を体験しました。パリの熱気はまさに圧倒的でした。16のコロケート イベントには6,000人を超える参加者が集まり、これは過去最多の記録となりました。全体では331のセッション、19の基調講演、223のブレイクアウト セッションが実施され、ベテランから初参加者まで、すべてのクラウドネイティブ関連分野に熱意、経験、サポートがもたらされました。AI、アプリ開発、プラットフォーム エンジニアリング、オブザーバビリティなど、取り上げられたテーマも多岐にわたりました。

今回のKubeConでは多くの初めての試みが行われました。研究者が自身の取り組みについて直接語り合える初のポスターセッションでは、新たに意義深いつながりが生まれました。また、プロジェクトパビリオンでは初めてのツアーを実施し、来場者の質問に答えたり、さまざまなプロジェクトについての理解を深める機会を提供しました。さらに、盛り上がりを見せたClashLoopBackOff競技、アンバサダーやKubernetes Community Day + Cloud Native Community Groupの主催者ミートアップ、コントリビューター会議なども開催されました。

総登録数

12,048

初回参加者

52%



スカラーシップ

312



えっ、まだ月曜の夜で #kubeccon は正式には始まってすらいないって?でももう頭の中は処理しきれないほどのすごい技術、素晴らしい人とのつながり、一生ものの思い出などでいっぱいなんだけど!今週が終わる頃には、お菓子を食べすぎた子どもみたいになっちゃいそう。 - MIKE TOUGERON, BLUESKY

内容

2,541

2541発表応募

637

637スピーカー

7,500+

7500+のメディア報道



[透明性レポート](#)の詳細をご覧ください。

KUBECON + CLOUDNATIVECON NORTH AMERICA 2024



ソルトレイクシティでの初開催では、パテントトロール対策からプラットフォーム エンジニアリング、大規模クラウドネイティブAI、セキュリティ、そしてこの10年間で築いてきた活気あるコミュニティに至るまで、多岐にわたるテーマを取り上げました。

慌ただしい3日間の中で、いくつかの出来事が特に印象的でした。まず、私たちはCloud Native Heroes Challengeを開始し、コミュニティに対して現金や賞品を獲得しながらパテントトロールを食い止めるチャンスを提供しました。次に、クラウドネイティブの協力の力が存分に示され、多くの組織がプラットフォーム エンジニアリング、AIおよびLLMの実装、オブザーバビリティなどに関する成功事例を共有しました。そして最後に、Andelaと提携し、今後数年間で2万人から3万人のアフリカの技術者を育成する計画を発表しました。

総登録数

9,000+

初回参加者

50%



スカラーシップ

345



もう2日が経ちましたが、起こったすべてのことにこれ以上ないほどワクワクしています。KubeConは、Kubernetesを使うすべての人が参加できるイベントです。すべてのプレゼンテーション、すべてのつながり、すべての会話、新たに発見したプロジェクトのすべてが、この数日間に歩いた何マイルかの価値に見合うものです.....

GIOVANI MARTINS PIRES, LINKEDIN

内容

1,937

発表応募

617

スピーカー

5,961

のメディア報道

[透明性レポート](#)の詳細をご覧ください。

KUBECON + CLOUDNATIVECON + OPEN SOURCE SUMMIT + AI_DEV CHINA 2024



今年は約1,200人が香港に集まり、クラウドネイティブ、AI、オープンソースへの勢いが至るところで明確に感じられました。再びOpen Source Summitとパートナーシップを結べたことを嬉しく思うとともに、AI_dev Chinaの参加により、AIとオープンソースに関するより重要で微妙な議論をさらに深めることができました。

総登録数

1,192

初回参加者

54% 

スカラーシップ

69 

私たちが呼ぶところのクラウドネイティブAI (CNAI) が圧倒的な存在感を示し、中国のあらゆるクラウドネイティブプロジェクトで急速なイノベーションの例が見られました。Kubernetes、Kubeflow、Kueueといった既存の主要プロジェクトに加え、この地域ではCNCFに参加し、AIの革新をプロトタイプから本番環境へと推し進める多くの新たな技術が登場しています。クラウドネイティブインフラ上でより多くの大規模言語モデルや機械学習ツールが展開されているのがますます明らかになっています。

内容

527

発表応募

220

スピーカー

369 

のメディア報道

[透明性レポート](#)の詳細をご覧ください。

KUBECON + CLOUDNATIVECON INDIA 2024



総登録数

3,022

初回参加者

81% 

スカラーシップ

302 

初開催となったKubeCon + CloudNativeCon Indiaは大盛況で、3,000人を超える参加者が集まり、クラウドネイティブに対する温かく熱心な姿勢を示しました。期待は高かったものの、それを超える印象的なデビューとなりました。インドはCNCFへの貢献数で世界第4位(11,500件超)を誇り、コミッター数も第3位に位置しています。AIや機械学習からエッジコンピューティング、セキュリティ、オブザーバビリティに至るまで、参加者は世界中の実践者から直接話を聞くことができ、コミュニティが厳選した基調講演、ブレイクアウトセッション、メンテナズセッション、ライトニングトークが繰り広げられました。ネットワーキングはカンファレンスの前後も含めて続き、Kubernetesの10周年(KuberTENes)とAIが交差する今、話題は尽きませんでした。

内容

862

発表応募

134

スピーカー

570


のメディア報道

[透明性レポート全文](#)をご覧ください。

教育

CNCFは2024年にクラウドネイティブ エコシステムの成長へのコミットメントを強化し、世界的に認知された認定資格を拡充し、雇用機会を増やし、より多くの人々がクラウドネイティブ技術の実践的な活用スキルを向上させる支援を行いました。

エコシステムが成長・拡大を続ける中、今年開始した認定資格はその進化を反映しています。



Kubernetes and Cloud Native Security Associate (KCSA) - は、ユーザーが Kubernetes クラスターの基本的なセキュリティ設定を理解し、コンプライアンス目標を達成する能力を示します。これには、セキュリティコントロールの強化、セキュリティのテストおよび監視、そしてセキュリティ脅威の評価への参加が含まれます。



Certified GitOps Associate (CGOA) - は、候補者が GitOps の原則、用語、およびベストプラクティスを理解し、GitOps 管理のソフトウェアシステムの構築に加えて、Configuration as Code、Infrastructure as Code、DevOps および DevSecOps、CI & CD といった関連するプラクティスを GitOps にどのように適用するかを示すことができます。



Istio Certified Associate (ICA) - は、Istio の原則、用語、および Istio の構築に関するベストプラクティスをしっかり理解していることを示します。



Cilium Certified Associate (CCA) - は、Cilium を用いて Kubernetes クラスターを接続、セキュア化、オブザバブルにする知識を有していることを証明します。



Certified Argo Project Associate (CAPA) - は、ユーザーが Argo プロジェクトのエコシステムを理解し、各ツールをいつ、なぜ使うべきかを適切に判断できる能力を示します。



Backstage Certified Associate (CBA) - は、Backstage を活用してキャリア、チーム、組織を前進させるためのスキルとマインドセットを証明します。

KUBESTRONAUTプログラム



2024年、CNCFはKubernetesおよびオープンソースのクラウドネイティブ技術の成長を促進するためにKubestronautプログラムを開始しました。このプログラムは、クラウドネイティブの専門家が成長するためのトレーニングや学習リソース、ネットワーキングの機会、そしてプロフェッショナルなスキル開発を提供します。

Kubestronautとは、CNCFが提供するKubernetes関連の5つの認定資格をすべて同時に取得し、維持している人物を指します。



開始から1年未満で、Kubestronautコミュニティは86か国で1,000人以上のメンバーに成長し、各メンバーがKubernetesおよびクラウドネイティブ技術に関する深い専門知識を示しています。

CNCFの教育プログラムは引き続き成長を続けており、2024年には以下のトレーニングコースと試験が大きな注目を集めました。

16%↑

[Kubernetes Massively Open Online Course \(MOOC\)](#) は 40 万人の受講登録を達成しました

42%↑

[Certified Kubernetes Administrator \(CKA\)](#) 試験の受験登録数は 25 万人に達しました

40%↑

[Certified Kubernetes Application Developer \(CKAD\)](#) 試験の登録者数は 111,000 人に達しました

72%↑

[Certified Kubernetes Security Specialist \(CKS\)](#) 試験の登録者数は 62,000 人に達しました

104%↑

[Kubernetes and Cloud Native Associate \(KCNA\)](#) 試験の登録者数は 18,000 人に達しました

5300+

[Kubernetes and Cloud Native Security Associate \(KCSA\)](#) 試験は、初年度にして既に 5300 件以上の登録を記録しています

103%↑

[Prometheus Certified Associate \(PCA\)](#) 試験の登録者数は 3,050 人に達しました (2023 年より 103% 増加)

1600

[Istio Certified Associate \(ICA\)](#) 試験は、初年度にして 1,600 件の登録を達成しました

1 KTP↑

[Kubernetes Training Partner \(KTP\)](#) プログラム 2024 では、新たに 1 社の KTP が加わり、年末には合計 53 社の KTP となりました

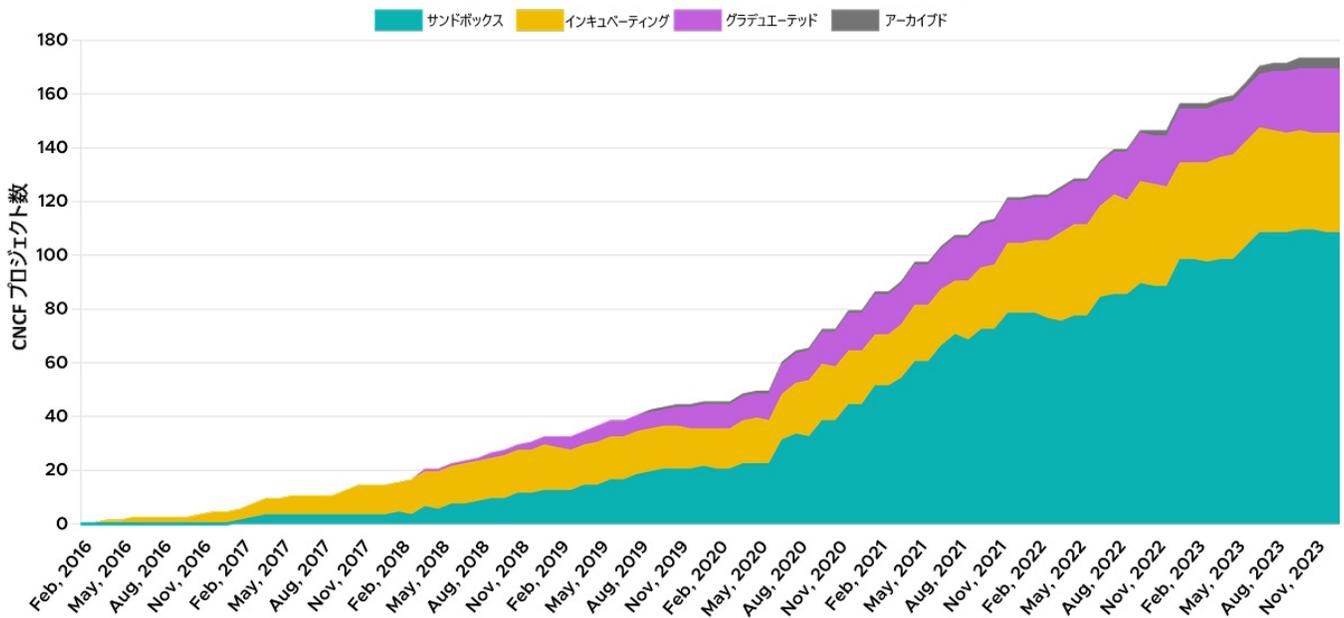
24 KTPS↑

[Kubernetes Certified Service Provider \(KCSP\)](#) プログラム 2024 では、新たに 24 社が加わり、年末時点で合計 232 社の KCSP となりました

プロジェクトの最新情報と満足度



2024年を通じて、CNCFはクラウドネイティブの普及に対するコミットメントを強調し、30のグラデュエーテッド(卒業)プロジェクト、34のインキュベータープロジェクト、129のサンドボックスプロジェクトをホストしました。



新規プロジェクト

2024年、[技術監督委員会\(TOC\)](#)は27の新規プロジェクトを受け入れました。

1

インキュベーター
リング

26

サンドボックス

プロジェクトの移動

プロジェクトが成熟度を高めるには、エンドユーザーおよびベンダーによる採用、活発なコードのコミットおよびコードベースの変更、複数の組織からのコントリビューターの参加を[TOC](#)に示す必要があります。2024年には6つのプロジェクトが卒業し、4つがインキュベーション段階へ移行し、8つがアーカイブされました。

6↑

グラデュエーテッド
(卒業)

4↑

インキュベーター
リング

8→

アーカイブド

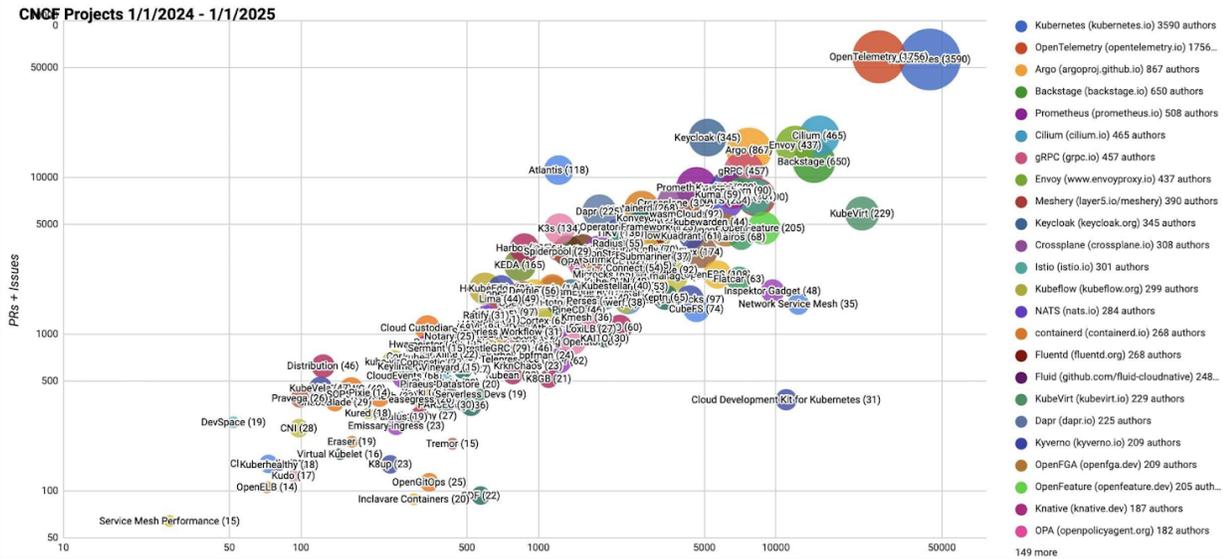
卒業プロジェクト



CNCFプロジェクトの成長速度

CNCFプロジェクトの成長速度や主要なオープンソースプロジェクトを継続的に観察することで、開発者やエンドユーザーの間で注目されているトレンドを的確に把握できます。その結果として、今後成功する可能性の高いプラットフォームについての洞察が得られます。

プロジェクト成長速度に関する主なポイント



これらのチャートから読み取れる主なポイントは以下のとおりです。

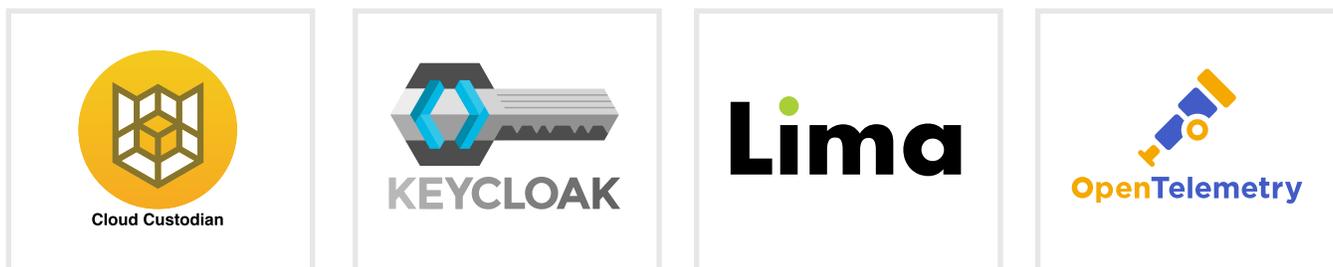
- Kubernetesは、CNCF内で最も一貫しており最大規模のコントリビューター基盤を持ち、引き続き成熟を続けています。
- OpenTelemetryはコントリビューター基盤を拡大し続けており、依然として成長速度で第2位のプロジェクトです。最近ではプロファイリングを新たなシグナルタイプとして追加し、Go言語のコンパイル時インストールメンテーションの導入にも取り組んでいます。
- CNCFプロジェクトは大規模AIインフラの基盤となっており、その中でKubeflowがリストのトップ15に迫る位置まで成長しています。
- Backstageは開発者体験に関わる重要な課題を解決しつつ成長しており、世界で最も人気のあるオープンソースのIDプロバイダー (IdP) となっています。
- OpenFeatureは年次の成長速度レポートで初めてトップ25に登場し、オープンソースおよびフィーチャーフラグの相互運用性を求めるコミュニティのニーズを反映しています。

Chris Aniszczuk, CTO, CNCF



セキュリティ

ファジング監査:



セキュリティ監査:



さらなる情報:

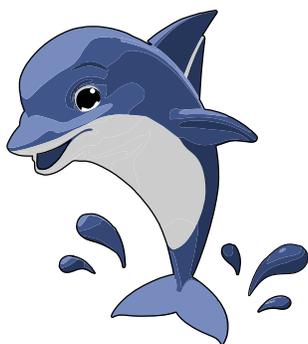
https://ostif.org/wp-content/uploads/2024/12/2024-CNCF_OSTIF-Impact-Report.pdf

PHIPPY AND FRIENDS

控えめなPHPアプリから始まったPhippyは、コンテナ化から自動化まで、何千もの人々がクラウドネイティブ コンピューティングを理解する最初の一步を踏み出す手助けをしてきました。現在、Phippy and Friendsの使命は、クラウドネイティブ コンピューティングの難解さを解消し、複雑な概念を魅力的で分かりやすく説明することです。

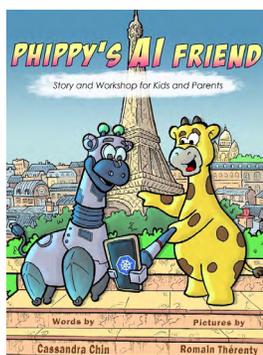


2024年に、あるプロジェクトがキャラクターを寄贈しました。



Izzy (イジー) — Istioのインド太平洋ボトルノーズドルフィン

新しいPHIPPYの本



私たちは、Phippyが新たな冒険として「Phippy's AI Friends」や「Phippy's Sonic Pi」に取り組み、Kids Day Workshopsで若いコーダーたちを支援しているのを見て大変嬉しく思いました。これらの本は、Scratchを使った冒険を通じて、ChatGPT、DALL・E、Gemini、Sonic Piといった技術がどのように機能するかを学べるように設計されています。Cassandra ChinさんとMihir Guptaさんに感謝します。

Phippyはまた、Izzy Saves the BirthdayでIstioの世界にも飛び込みました。Lin SunさんとFaseela K.さんに感謝します。

PHIPPY & FRIENDSファミリーに参加しよう!

あなたは卒業プロジェクトのメンテナーですか?クラウドネイティブコンピューティングの概念をより多くの人に理解してもらう手助けをしたいですか?Phippy and Friendsファミリーにキャラクターを寄贈してください。

キャラクターを寄贈する



ドキュメンタリー:ARGOCON

今年、CNCFはドキュメンタリー『[Inside Argo: Automating the Future](#)』を公開しました。このドキュメンタリーは、Kubernetesのワークフローを革新した画期的なオープンソースプロジェクトの歩みを詳細に描いており、Argoが単一のワークフロー エンジンから、Kubernetesのデプロイメントを簡素化・自動化する強力なツール群 (Argo Workflows、CD、Rollouts、Events) へと成長した過程を明らかにしています。

コミュニティと多様性への取り組み

KUBERNETES COMMUNITY DAYS (KCD)

KCD (Kubernetes Community Days) は、採用者や技術者が集まり学び、協力し、ネットワークを築くためにコミュニティが主催する世界規模のイベントであり、Kubernetesおよびクラウドネイティブ技術の普及と改善を推進することを目的としています。

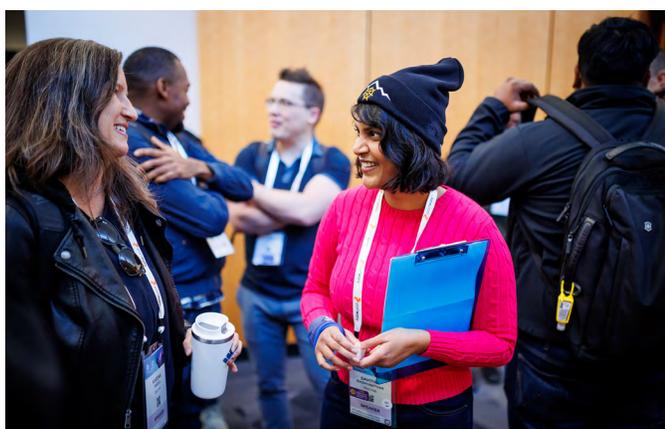
一目でわかるKDC 2024

- 35回のKCD (2023年から9%増加)
- 27か国
- 10,000人以上の参加者／チェックイン
- 中国語、英語、イタリア語、インドネシア語、ポルトガル語、スラブ語、スペイン語、台湾語、トルコ語での発表
- 女性およびノンバイナリーのスピーカー割合平均19.38%

プログラムの成功を確実にするため、KCDコミュニティおよび主催者を支援する追加措置も実施しました。

- CNCFは各KCDイベントの基本として[KCDロゴ](#)の標準化を行いました
- 各KCDには、100%割引のトレーニングバウチャーを10枚配布しました
- 各KCDはスピーカーおよび／またはボランティアにCredlyバッジを授与するかどうか選択可能です

CLOUD NATIVE COMMUNITY GROUPS (CNCGS)



CNCGS (community.cncf.io) は、KCDと同様に採用者や技術者を集める世界規模のクラウドネイティブチャプターです。これらのグループは、対面、バーチャル、またはハイブリッドのミートアップイベント規模で、Kubernetesおよびクラウドネイティブ技術に関する学習、協力、ネットワーキングを促進しています。

一目でわかるCNCGS 2024

23% ↑ 22% ↑ 14% ↑

217のアクティブな地域
チャプター

1,512の地域ミートアップ
がホストされる

285の地域オーガナイザー
が追加される

注:これらの数字にはバーチャルのみのチャプターは含まれていません。

CNCGコミュニティおよび主催者をより良く支援するため、プログラムの成功を確実にするいくつかの取り組みを導入しました。

- CNCFは、透明性の高いGitHubのIssueを通じてチャプターおよび主催者の要望を正式化し、可視性と説明責任を向上させました。
- 参加に対する明確な期待を設定するための利用規約を導入しました。
- 各主催者は、オープンで包括的な環境を育むための無料オンラインコースを修了することが義務付けられています。
- 四半期ごとに対面イベントを1回以上開催し、10人以上が参加した41グループに対して5枚のトレーニングバウチャーを提供し、継続的な参加とスキル開発を促進しました。
- 2024年に活動したすべての主催者にCredlyバッジを授与し、その貢献とコミットメントを称えました。



DEI

私たちは#TeamCloudNativeへのコミットメントを強化・拡大し、持続的な勢い、成長、普及を促進するコミュニティ主導の取り組みに投資し続けています。同時に、DEI(多様性、公平性、包括性)への注力も深め、エコシステムが誰もが活躍できる歓迎的で包括的な場であり続けることを保証しています。

CNCFは、この卓越したクラウドネイティブコミュニティの成長を支援し続けるとともに、性別、性自認、性的指向、障害、人種、民族、年齢、宗教、経済状況に関わらず、すべての参加者が歓迎されていると感じられる環境を確保することに努めています。これまでに、Dan Kohnスカラーシップ基金を通じて7,000件以上の多様性およびニーズに基づくスカラーシップを授与しています。

7,000

7000のDANスカラーシップ基金によるスカラーシップ
およびニーズベースのスカラーシップ

2024年、私たちは529名のスピーカーおよび奨学生に対して、CNCFイベント参加のための交通費を支援しました。これらの受給者は、伝統的に十分に代表されていない、または周縁化されたグループに属し、経済的制約により参加が困難であった可能性のあるイベントに参加する機会を提供されました。さらに、650枚の無料登録パスを必要とする個人に提供し、コミュニティ内でのより広いアクセスと包括性を確保しました。

スカラーシップは以下のスポンサーからの支援により資金提供されました。



DEIコミュニティハブ

KubeCon + CloudNativeCon North America 2024では、初めてGoogle CloudのスポンサーによるDEIコミュニティハブを設置しました。ここは多様性、公平性、包括性、アクセシビリティをつなぎ、学び、祝うための実際的な場です。DEIハブはコミュニティグループに参加したり、アライシップやアドボカシーのワークショップに参加したり、オープンラウンジの時間帯に安心してくつろげる場所として活用されました。合計403名の参加者がDEIコミュニティハブを利用しました。

コミュニティアワード

CNCFコミュニティアワードは今年で8回目を迎え、すべてのCNCFプロジェクトおよびTAGでクラウドネイティブの形成に大きく貢献している主要なコントリビューターを称えました。受賞カテゴリーは以下のとおりです。



TOP CLOUD NATIVE COMMITTER – 1つまたは複数のCNCFプロジェクトにおいて、優れた技術力と顕著な技術的業績を持つ個人。
2024年の受賞者はJoe Stringerでした。



LOREM IPSUM (TOP DOCUMENTARIAN): この賞は、CNCFおよびそのプロジェクトへの文書化の貢献における卓越性を称えるものです。
2024年の受賞者はQiming Teng氏とHaifeng (Michael) Yao氏でした。



THE TAGGIE: この賞は、CNCFの[テクニカルアドバイザリーグループ \(TAG\)](#)の推進に最も貢献した人物に贈られます。TAGは、CNCFの技術コミュニティおよびユーザーコミュニティによる貢献を拡大しつつ、整合性を維持し、品質を高めることで、クラウドネイティブを普及させるというCNCFの使命を支援しています。この賞の初代受賞者はNancy Chauhan氏でした。



CHOP WOOD AND CARRY WATER: この賞は、しばしば地味な作業に無数の時間を費やして貢献している方々を称えるものです。CNCFは、2024年に卓越した貢献を果たした以下の5名の素晴らしい努力を誇りをもって表彰しました。
Stefan Schimanski氏、Ali Ok氏、James Spurin氏、Priyanka Saggu氏、Sandeep Kanabar氏、William Rizzo氏。

毎年贈っている従来のアワードに加えて、今年は「Lift and Shift」賞を新設し、CNCFプロジェクトのインフラ支援に対する多大な努力を称えました。今回の「Lift and Shift」は特に、KubernetesのテストインフラをGoogleの社内リソースから完全にコミュニティが所有するインフラへと移行する取り組みを指しており、このプロジェクトには6年を要しました。CNCFは、この困難な作業に献身的に取り組んだ以下の方々の努力と献身を称えました。Tim Hockin氏、Aaron Crickenberger氏、Ben Elder氏、Arnaud Meukam氏、Davanum Srinivas氏、Mahamed Ali氏、Ricky Sadowski氏、Michelle Shepardson氏、Koray Oksay氏、Ptryk Przekwas氏、Marko Mudrinic氏、Justin Santa Barbara氏、Cole Wagner氏、Caleb Woodbine氏、Hippie Hacker氏、Linus Arver氏。

Kubernetesの10周年を迎えるにあたり、過去10年間にわたりKubernetesおよびCNCFコミュニティの形成と支援に多大な貢献をされたTim Hockin氏に、特別な栄誉として生涯功労賞を授与することができたのは大きな喜びでした。

政治的中立の立場を取ること

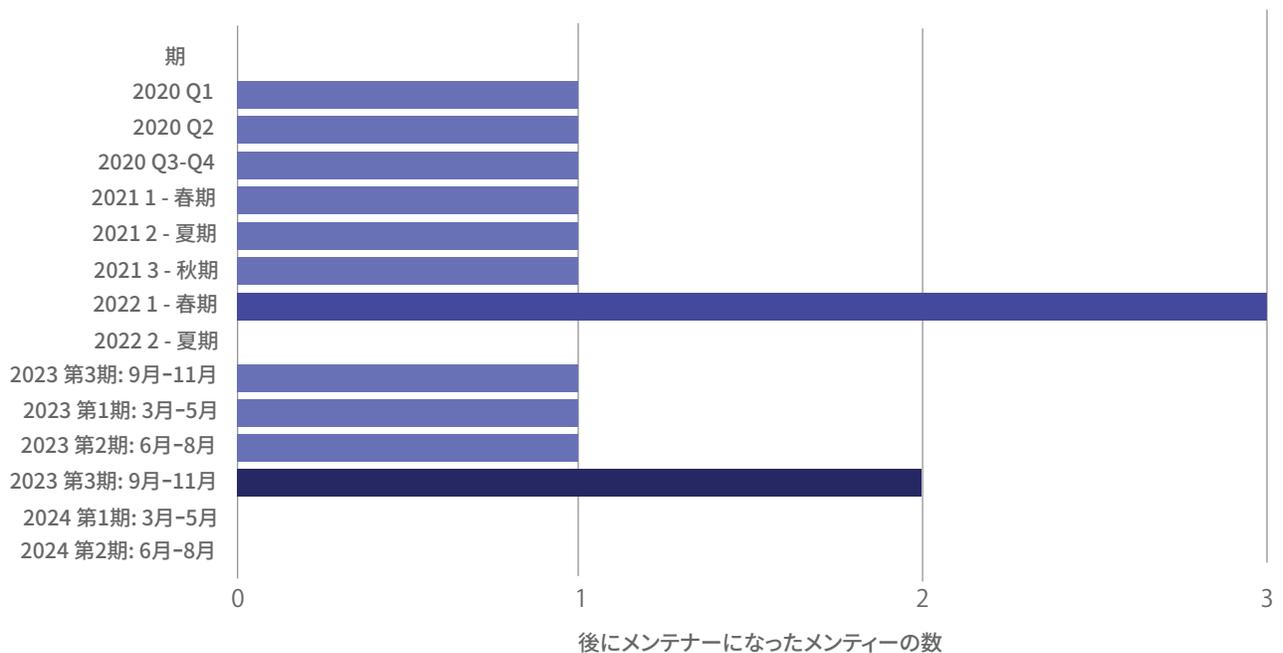
CNCFガバニングボード(理事会)は、クラウドネイティブ コンピューティングの推進と、世界中の技術者にとって中立的な場の提供に専念するため、政治的中立性に関する方針を採択しました。CNCFは、その使命に直接関係しない限り、政治的な声明を发表或し、政治的な活動を支援したりすることはありません。この方針は、コミュニティ内に存在する多様な政治的見解を尊重し、注意の分散を防ぎ、技術的な取り組みに集中することを目的としています。CNCFはエコシステム内でのDEI(多様性・公平性・包括性)の取り組みを支援していますが、無関係な法律や政策に対して政治的立場を取ることはありません。規制に関しては、技術やコミュニティに影響を与える場合にのみ関与します。

メンタリング

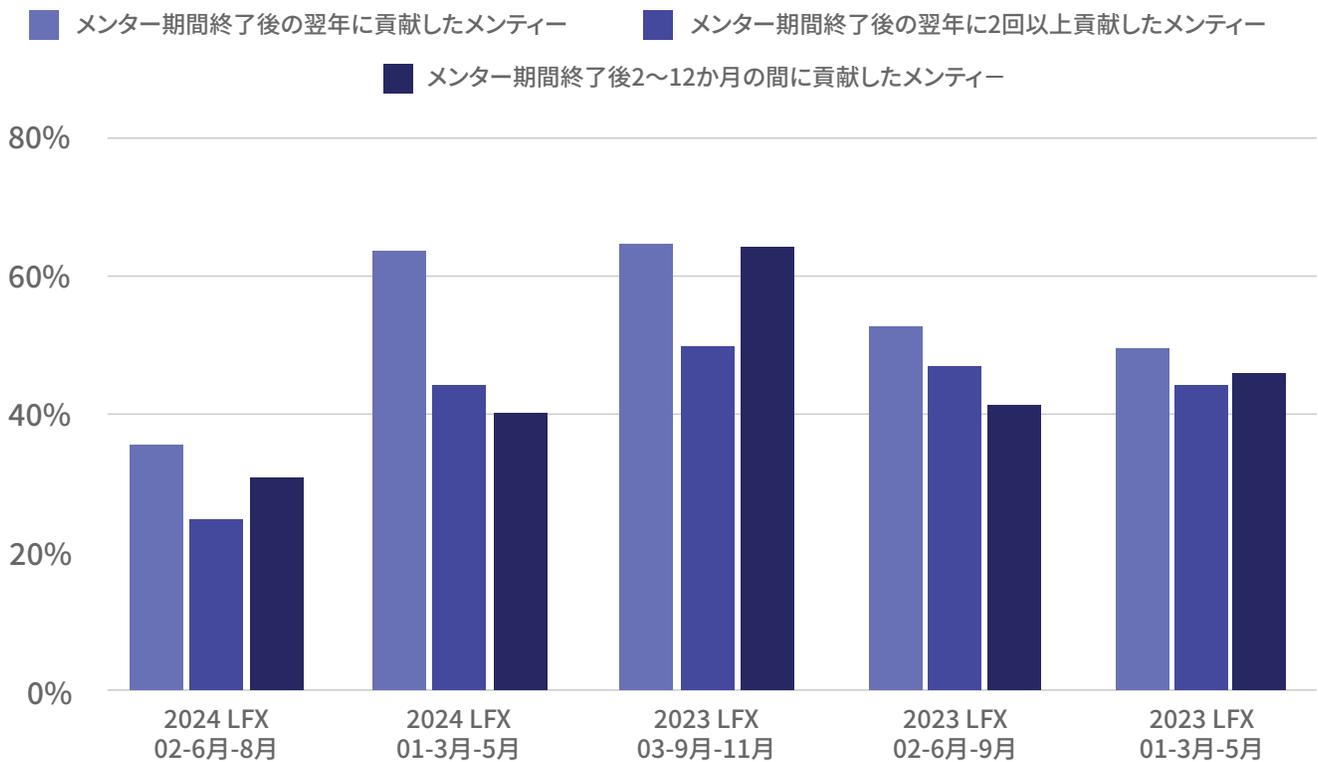


CNCFは2024年に、[LFXメンタープログラム](#)、[Google Summer of Code \(GSoC\)](#)、[Outreachy](#)など、さまざまなメンタリングおよびインターンシップの機会を通じて145人以上の個人を支援しました。これらのプログラムは、私たち全員が依存する将来の技術に影響を与えるインターンシップの重要なきっかけとなっています。2020年以降、LFXメンタープログラムに参加した14名のメンティーがCNCFプロジェクトのメンテナーとして活躍しています。

メンティ → メンテナー



メンティーがメンター期間終了後の翌年に行った貢献のパーセンテージ



私たちは147人の学生を支援し、44のCNCFプロジェクトに取り組んでもらいました。

134

LFXメンターシップ

11

GSOC

2

OUTREACHY

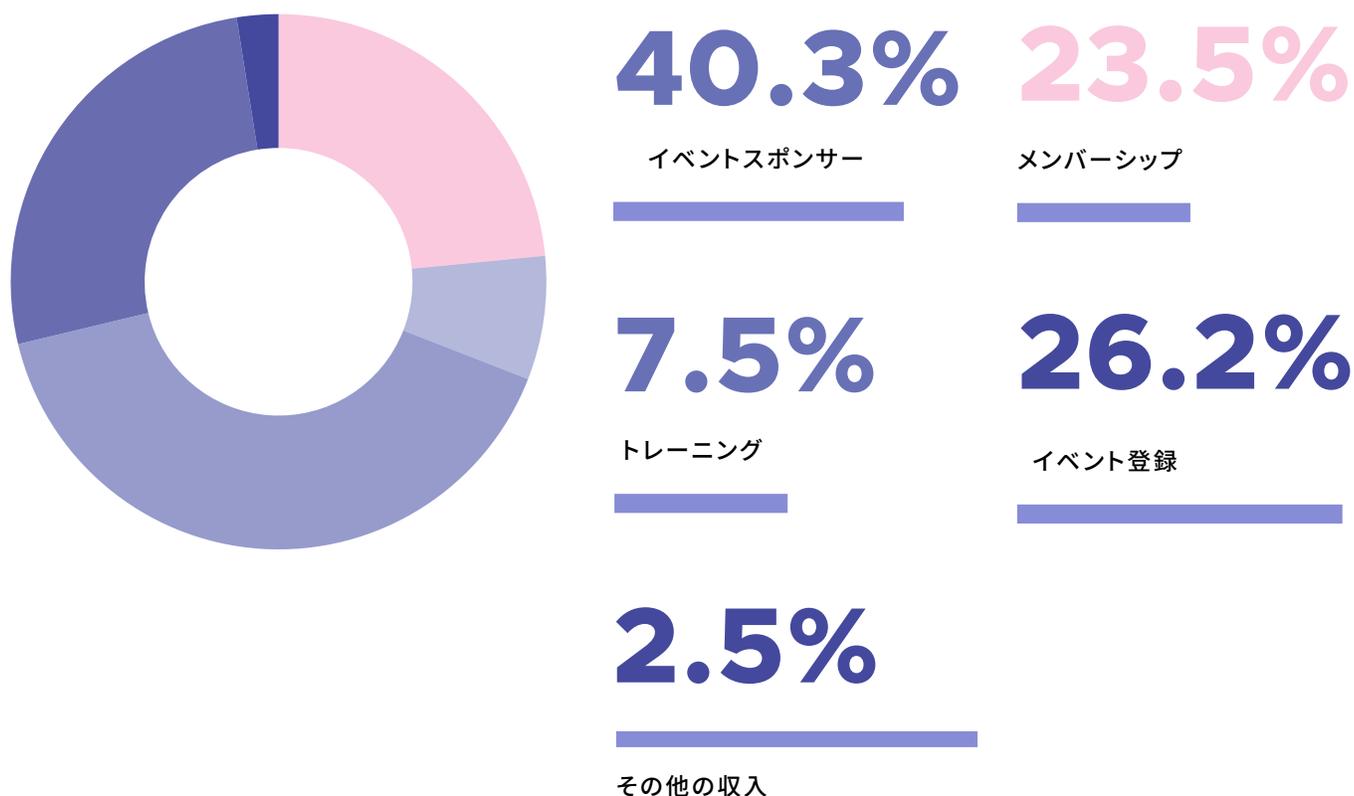


資金提供

CNCFの収益は、主にメンバーシップ、イベントスポンサーシップ、登録料、教育の4つの主要な資金調達源から得られています。

CNCFおよび私たちのカンファレンス ([KubeCon + CloudNativeCon](#)を含む)、そして一般的なオープンソースの基本的な前提は、相互作用がゼロサムではなく、ポジティブサムであるということです。特定のプロジェクトに割り当てられる投資、関心、開発貢献には固定された量はありません。同様に重要なのは、プロジェクトとコミュニティにとって中立的な拠点が、この種のポジティブサム思考を促進し、成功するオープンソースプロジェクトの核心要素である成長と多様性を推進することです。

資金調達の源泉



2024年に私たちが共に成し遂げた素晴らしい成果を振り返り、楽しんでいただけただけなら幸いです。ご意見やフィードバックは info@cncf.io までお寄せください。

2025年にお会いできるのを楽しみにしています!お近くで開催されるコミュニティイベントのカレンダーをぜひご覧ください。また、4月にロンドンで開催されるKubeCon+CloudNativeCon Europeへの登録もお忘れなく。

ぜひ私たちの年次調査をご覧ください — [リンクはこちら](#)です。

この日本語文書は、[CNCF Annual Report 2024](#) の参考訳として
The Linux Foundation Japan が提供するものです。
翻訳協力:小笠原徳彦

